

◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

北教だより

茨城県県北教育事務所

令和6年8月8日(木)

第5号

電話 0294-34-0774

FAX 0294-32-0006

E-mail hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

各学校においては、9月以降の授業に向けて、探究的な学びの実現に向けた授業改善における校内研修等を計画・実践していることと思います。さて、本号では**国語科及び外国語活動・外国語科の授業で求められるポイント**を、先日行われた教育課程研究協議会の資料や今年度の全国学力・学習状況調査の課題からまとめました。以下を参考に、引き続き授業改善についての取組をお願いいたします。

求められる授業づくり【国語編】

重要!

バランスのよい**知識・技能**と
思考力・判断力・表現力の育成

〈令和6年度小・中学校教育課程研究協議会 配付資料より〉

- 国語科で育成する資質・能力 ⇒ **国語で理解し表現する言語能力**
※適切な言語活動の設定と評価(指導に生かす評価場面+講じる手立て、記録に残す評価場面)
- 効果的なICTの活用場面の設定 ⇒ **推敲・思考の可視化及び共有など**
※手書きとタブレット:教師の明確な意図(効果)・児童生徒が選択できる場の設定(主体性)
- 「**考えの形成**」に関する課題 ⇒ 根拠の明確さ、情報の比較・関連付け、論理の展開や表現の仕方への評価
※構造と内容の把握→精査・解釈→「考えの形成」:どこでのつまずきかの的確な見取り
- 生きて働く「**知識・技能**」の習得⇒学習して身に付ける・身に付けたことを活用する場の設定
※語彙指導:理解している語彙の量、使いこなせる語彙の量を増やす。
情報の扱い方:情報の整理・関係の捉え方、自分の得た情報の整理及び関係の明確化

【R6 全国学力・学習状況調査の結果より】

	正答率が4割未満のもの	指導例
小	・漢字を文の中で正しく使う力	その漢字を使った言葉の意味も学習し、日常的に活用する。
中	・文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する力	発表や作文など、アウトプットする場面でも関連する資料を使って示すような学習場面を設定する。

求められる授業づくり

【外国語活動・外国語科編】

重要!

言語活動及び
言語活動を通して指導すること

〈令和6年度小・中学校教育課程研究協議会 配付資料より〉

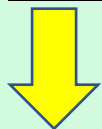
児童生徒の英語力向上に影響する大切なこと

1. 児童生徒の英語による言語活動

言語活動とは、実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合うこと

※言語活動を行う際には、コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定することが大切である。また、児童生徒の興味・関心に合ったものを題材として扱う。

例: △△小学校の良いところを紹介しよう。→相手意識や目的があいまい



☆言語活動を設定する際の4つのポイントを大切に!

相手意識がある

「ほんもの」の活動である

伝える「必然性」がある

コミュニケーションの楽しさや意義がある

新しく日本に来るALTの先生に、この学校を好きになってもらうために△△小学校の良いところを紹介しよう。

2. 教師の英語使用及びALTの参画・活用

教師やALTの英語は、児童生徒にとって効果的なインプット!

3. ICTの効果的な活用

1人1台端末を用いた授業(デジタル教科書の活用、発話や発音などの録音・録画、他校とのオンラインでの交流等)

※中学校に関しては、MEXGBTを生徒の英語力を図る指標としてぜひ活用を!